

区民公開講座

新潟市中央区医療・介護の



2018年
6/23(土)
開場 13:30~
開演 14:00~16:30

二人揃えばコミュニティ！

～学んで、繋がり、自分たちで創る人生を生き抜く処方箋～



講師
内藤 いづみ さん
在宅ホスピス医
ふじ内科クリニック院長

新潟ユニゾンプラザ

会場 4F 大研修室
新潟市中央区上所2-2-2
TEL 025-281-5511

～駐車場ご利用にあたってのお願い～
当日は、駐車場の利用は可能ですが、大変混雑が予想されます。できるだけ「お車の乗り合わせ」「公共交通機関のご利用」にご協力ください。

参加費無料
先着180名様（事前予約制）

在宅ホスピスケアボランティアを学んでみませんか？

にいがた県！在宅ホスピスケアボランティア講座

育成セミナー

全5回
募集定員
50 名程度

会場 県立生涯学習推進センター研修室
時間 14:00～16:30 (9/9のみ10:00～12:30)

ご家族をご自宅で看取られた経験のある方、ボランティア活動に興味のある方、現役を引退された医療・介護職経験者、一般の方など、どなたでも大歓迎です。

本事業は公益財団法人正力厚生会 2018年度「がん患者団体助成事業」の一環として実施いたします。

7/7① 第1回 在宅ホスピスケア概論	クリニック講師 川越 厚先生
7/14② 第2回 がん治療～緩和ケアの基礎知識	在宅ホスピスケアコーディネーター 塚田裕子先生
8/18③ 第3回 ご本人とご家族とのコミュニケーション	新潟市地域医療連携センター 野本優二先生
8/23④ 第4回 ホスピスケアボランティアとは	クリニック講師 川越博美先生
9/9⑤ 第5回 グリーフケア (10:00～12:30)	松田正史先生

① ホスピスケアとは？

命が限られた末期がん患者さんや高齢者、社会的・経済的困難から生じた苦しみ、様々な悩みを抱えている人々に対して、医療・介護・福祉・ボランティアなど、多職種が連携して、患者さんやご家族の苦しみを取り除くことを目指す活動です。

人間の尊厳とは？

自分で生きて、自分で死んで、そして人を愛し、人から愛されること。

② 在宅ホスピスケアとは？

患者さんの生活の場である「家」において、医療・介護・福祉・ボランティアなど、多職種が連携して、患者さんやご家族の苦しみを取り除くことを目指す活動です。

チームアプローチとは？

ホスピスケアのチームは、医師、看護師、介護士、社会福祉士、心理士、薬剤師、栄養士、歯科医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ボランティアなど、多職種が連携して、患者さんやご家族の苦しみを取り除くことを目指す活動です。

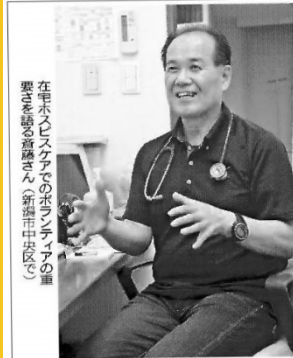
2018年(平成30年)5月29日(火曜日)

倉庫

在宅ホスピス団体に助成

正力厚生会 ボランティアを養成

(第3種郵便物認可)



在宅ホスピスケアとは、医療・介護の専門家が連携し、病室ではなく自宅などで、末期がんなどの患者が、生活の場である「家」において、医療・介護・福祉・ボランティアなど、多職種が連携して、患者さんやご家族の苦しみを取り除くことを目指す活動です。

公益財団法人「正力厚生会」が公募した2018年度「がん患者団体助成事業」の助成金交付先に、在宅ホスピスケアのボランティア養成に取り組む「にいがた在宅ケアネットワーク」(新潟市中央区高志)が選ばれた。代表の斎藤忠雄さん(63)は「住み慣れた地域や自宅で最期を迎えられる社会にしたい」と話す。

ボランティア講座を5回にわたって開催。約60人が受講したが、継続的に活動できる人材の育成が課題となっていた。

今年度は、実際に身内を看取った経験のある人を中心にボランティア養成講座を開くほか、遺族のグリーフケア(悲しみのケア)、在宅での看取りにさらに力を入れていきたい」と話している。

2018年度がん患者団体助成事業 (公益財団法人 正力厚生会)

ごあいさつ たとえ「がんや難病」になっても住み慣れた自宅・地域で最期まで生ききたいと願いますが、その思いはどうでしょうか。病院、在宅医療が今、ひとつになってそれを叶えようとしています。医療、介護の専門職だけが協力し合ってもむずかしく、ここにホスピスケアボランティアがチームとなれば実現可能になります。病院や施設だけでなく、住み慣れた我が家で看取ることができることを知っていただくこと、それを支えるボランティアを養成すること、正力厚生会からの助成をいただき、ここ新潟で、在宅ホスピスの草分けである内藤いづみ先生をお招きして開催いたします。